

2022年1月24日

明治学院同窓会の皆様

明治学院歴史資料館  
館長 長谷川 一

## 明治学院歴史資料館への資料寄贈のお願い

日頃より明治学院歴史資料館の活動へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

この度、9月1日付けで「明治学院歴史資料館資料収集業務に関する内規」されました。この内規に基づき、弊館では積極的に本学院に関わる歴史的資料を収集していくことといたしました。

同窓会の皆様にも、お手元にお持ちの本学院に関わる歴史的資料がございましたら、弊館にご寄贈賜りたく、ご協力を申し上げます。ただし、一般図書・雑誌（ご自身が在学中に使用された教科書等含む）は、大学図書館で収書されておりますので、弊館での収集対象外とさせていただきますことを、予めご了承くださいたくお願いします。また、勝手ながら寄贈いただきました資料の扱いについても、弊館に一任いただけますようお願い申し上げます。

個人情報に関わるような場合には、本学院の「学校法人明治学院個人情報保護方針」ならびに「学校法人明治学院個人情報保護基本規程」により適切に管理いたします。

以下に「明治学院歴史資料館資料収集業務に関する内規」により収書対象を記載いたします。

（収集の対象）

第2条 資料館は、以下に掲げる歴史的資料を収集の対象とする。

- （1）学院の創立に関わった人物等に関する資料等
- （2）法人および学院内の諸学校が作成もしくは収受した資料等
- （3）学院の教職員・理事等に関する資料等
- （4）学生・生徒の生活や活動に関する資料等
- （5）日本における初期キリスト教教育関連の資料等
- （6）その他学院の歴史に関する重要と思われる資料等

同窓生の皆様におかれましては(3)、(4)が最も身近と思われませんが、次の様な資料が想定されます。

- ① 在学中に所属した団体での活動記録（アルバム、写真、作成した冊子等）
- ② 在学中に受け取った大学からの配布ビラあるいは自治会あるいは学生団体からの配布ビラ等
- ③ 在学中の大学要覧・講義要項、授業時間割等大学が発行した授業に関する冊子等
- ④ ③に関連して、担当教員、授業のことがより具体的にわかる受講の際のノート等
- ⑤ 在学中の学生生活要項等、大学が発行した学生生活に関する冊子等

特に①、②の資料を歓迎いたします。

(1)、(2)、(5)、(6)については、資料内容を確認させていただき、受贈の相談をいたしたく存じます。

学院に関わる人物は、ヘボン、フルベッキ、ブラウン、井深等明治学院草創期の人物だけでなく、幅広く人物資料を求めています。「明治学院百年史」(1977年刊)、「明治学院百五十年史」「明治学院百五十年史(主題編)」(2013年刊行)に登場する人物たちはもちろんのこと、戦後、本学院に派遣されていた宣教師の資料も求めています。

ご寄贈のご相談、ご不明の点は、歴史資料館事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。何卒宜しくお願い申し上げます。